



## 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社 関門海  
コード番号 3372 URL <https://www.kanmonkai.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 久美子

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 関口 弘一

TEL 072-349-9329

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,716	5.4	170	7.7	148	1.6	90	62.0
2024年3月期第3四半期	3,526	29.3	184		145		237	

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 90百万円 (62.0%) 2024年3月期第3四半期 239百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	6.60	
2024年3月期第3四半期	17.35	17.35

2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,411	1,002	29.4
2024年3月期	4,604	910	19.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 1,002百万円 2024年3月期 910百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,080	1.3	350	40.1	300	46.1	200	39.5	14.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	14,000,900 株	2024年3月期	14,000,900 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期3Q	302,147 株	2024年3月期	302,147 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	13,698,753 株	2024年3月期3Q	13,698,833 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	7
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間は、経済活動の正常化により人流が活発化し個人消費は回復傾向にあります。物価高の影響などもあり国内消費者は節約志向の高まりを見せており消費動向は徐々に弱まりつつあります。

また、インバウンド効果は堅調に推移しているほか、本部工場においても大手流通業者への販売やふるさと納税の返礼品受注が順調に推移し、全体の売上高は、前年同四半期と比較し上回る結果となっております。

当社グループにおいては、夏季のうなぎフェア等によるうなぎ販売の推進、インバウンド旅行者にも好評な天然とらふぐコース、「Wふぐ刺しプレミアムコース」や「秋のてっさ無料」フェア等を展開し売上高増加に努めました。また、新たな業態として「焼き福3階」を神楽坂店内3階にオープンし、1月には新宿南店内にも「千駄ヶ谷 焼き福浅野」をオープンし、新たな業態の開発を進めています。本社工場では今後も増加すると見込まれる大手流通業者や食品卸業者への販路拡大等に対応するため人員の増強を図り、体制強化を進めております。

当社グループの主力事業である「玄品」等の直営店舗では、夏季が中心のうなぎ料理や、天然とらふぐコース、冬の飲み放題付き冬安居コースが好調であったほか、インバウンド効果も相変わらず活況を呈したことが売上高増加に繋がっており、前年同四半期と比較して、直営店舗の既存店売上高は、前年同四半期比8.2%増となりました。当第3四半期連結会計期間末の直営店舗数は、前期末から閉店1店舗及びフランチャイズへの移管1店舗により41店舗、直営店舗の売上高は2,846百万円（前年同四半期比5.2%増）となりました。

フランチャイズ事業におきましては、既存店店舗末端売上高及び、とらふぐ等の食材販売等の売上高ともに前年同四半期を上回る結果となりました。当第3四半期連結会計期間末のフランチャイズ店舗数は、直営店舗からの移管1店舗、上海淮海店の移転準備のための減少1店舗により24店舗となり、とらふぐ等の食材販売、ロイヤリティ等によるフランチャイズ売上高は239百万円（前年同四半期比3.5%増）、国内既存店末端売上高は、658百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。

その他の業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、前期末と変わらず1店舗、本部に係る売上高も含めた当第3四半期連結累計期間の売上高は、本部の食材の外部販売に係る売上が増加したこと等により630百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,716百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。利益面においては、店舗売上高増加に伴い売上総利益は2,484百万円（前年同四半期比5.9%増）となりました。販売費及び一般管理費については、コストコントロールの徹底・継続を行っているものの、人手不足が深刻化する中、従業員待遇向上のための昇給、賞与や、人材を積極採用したことに伴うコストの増加や広告宣伝費等が増加したこと等により2,313百万円（前年同四半期比7.0%増）となりました。これらにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は170百万円（前年同四半期比7.7%減）、経常利益は148百万円（前年同四半期比1.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は90百万円（前年同四半期比62.0%減・前年同四半期は特別利益として受取補償金100百万円計上）となりました。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

また、当社グループは、主力事業である「玄品」の季節変動が大きいことにより、四半期毎の業績に大幅な変動があります。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,193百万円減少し、3,411百万円となりました。これは、繁忙期に係る売上高増加に伴う店舗クレジット等の売掛金の増加480百万円、本社工場に新設した有形固定資産の取得等による増加15百万円等の増加要因はあったものの、現金及び預金の減少1,486百万円、商品及び製品の減少196百万円等の減少要因によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して1,284百万円減少し、2,409百万円となりました。これは、新規契約等による長期借入金の増加325百万円、四半期特有の会計処理に係る未払法人税等の増加56百万円、未払金の増加30百万円、買掛金の増加18百万円等の増加要因はあったものの、既存借入金の返済及び新規借入金の差額等による1年内返済予定の長期借入金及び短期借入金の減少1,647百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等の減少57百万円、賞与引当金の減少4百万円等の減少要因によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して91百万円増加し、1,002百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加90百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年11月12日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,474,483	988,446
売掛金	248,605	728,795
商品及び製品	854,230	657,566
原材料及び貯蔵品	24,616	18,237
その他	59,008	78,169
貸倒引当金	△311	△266
流動資産合計	3,660,633	2,470,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	477,995	465,177
その他(純額)	49,571	78,134
有形固定資産合計	527,567	543,312
無形固定資産		
その他	15,239	13,876
無形固定資産合計	15,239	13,876
投資その他の資産		
差入保証金	274,696	259,139
その他	126,652	124,494
投資その他の資産合計	401,349	383,634
固定資産合計	944,155	940,823
資産合計	4,604,788	3,411,772
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	218,217	236,535
短期借入金	※ 2,284,874	※ 1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	602,626	139,980
未払金	276,270	306,977
未払法人税等	1,026	57,833
賞与引当金	37,583	33,150
株主優待引当金	16,120	14,000
その他	130,218	67,993
流動負債合計	3,566,937	1,956,471
固定負債		
長期借入金	100,000	425,025
その他	26,858	28,049
固定負債合計	126,858	453,074
負債合計	3,693,795	2,409,545
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	656,201	656,201
利益剰余金	531,520	622,171
自己株式	△288,020	△288,020
株主資本合計	909,700	1,000,351
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,233	1,874
その他の包括利益累計額合計	1,233	1,874
新株予約権	58	-
純資産合計	910,992	1,002,226
負債純資産合計	4,604,788	3,411,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	※ 3,526,262	※ 3,716,334
売上原価	1,179,769	1,232,173
売上総利益	2,346,492	2,484,161
販売費及び一般管理費	2,161,550	2,313,499
営業利益	184,942	170,662
営業外収益		
受取利息	101	215
助成金収入	4,981	-
差入保証金回収益	-	2,000
持分法による投資利益	1,142	-
その他	2,410	1,967
営業外収益合計	8,635	4,182
営業外費用		
支払利息	24,514	19,748
社債利息	1	-
支払手数料	19,711	4,217
その他	3,562	2,703
営業外費用合計	47,790	26,669
経常利益	145,788	148,175
特別利益		
新株予約権戻入益	-	58
受取補償金	100,000	-
特別利益合計	100,000	58
特別損失		
固定資産除却損	1,167	-
固定資産売却損	3,070	4
特別損失合計	4,237	4
税金等調整前四半期純利益	241,550	148,228
法人税等	3,921	57,885
四半期純利益	237,629	90,343
親会社株主に帰属する四半期純利益	237,629	90,343

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	237,629	90,343
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,843	641
その他の包括利益合計	1,843	641
四半期包括利益	239,473	90,985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239,473	90,985
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、店舗運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	59,589千円	62,192千円

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※ 当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行7行と貸出コミットメント契約及び当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。なお、前連結会計年度の契約は期間満了により終了しており当第3四半期連結会計期間の残高は新たな契約によるものとなっております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
貸出コミットメントの総額	500,000千円	-千円
当座貸越極度額	1,010,236	1,600,000
借入実行残高	1,475,453	1,100,000
差引額	34,782	500,000

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ 当社グループの売上高は、通常の営業形態として、冬場におけるとらふぐ料理の需要が大きいため、第3、第4四半期連結会計期間の売上高と他の四半期連結会計期間の売上高との間に著しい相違があり、業績の季節的変動があります。